

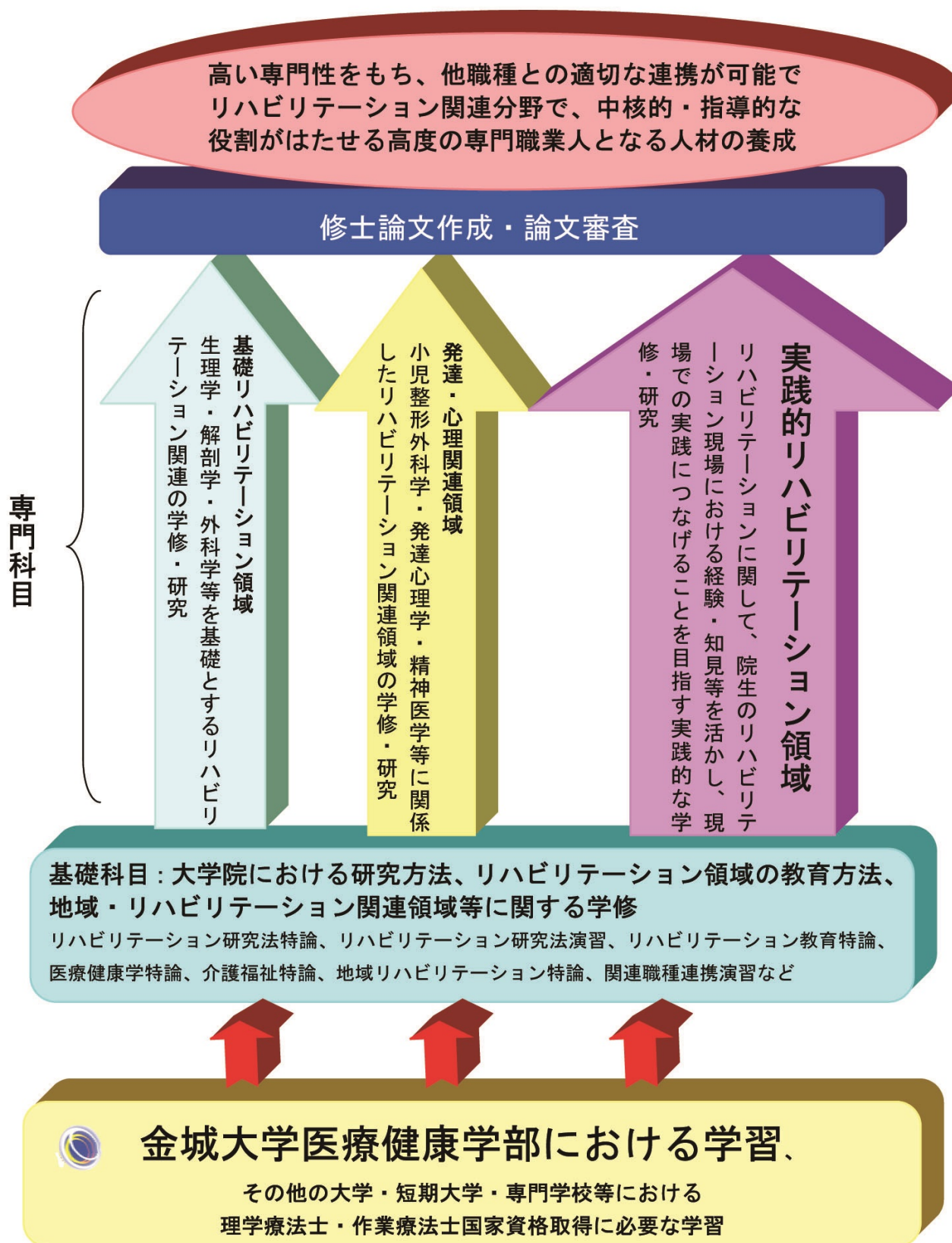
<医療健康学部 理学・作業療法学科>

区分	授業科目
科主 目題	統計学 福祉論 I 福祉論 II 高齢者福祉論 障害者福祉論
専 門 基 本 科 目	解剖学 I 解剖学 II 解剖学 III 解剖学 IV 解剖学実習 生理学 I 生理学 II 生理学実習 運動学 I 運動学 II 運動学実習 人間発達学
	病理学 臨床心理学 I 臨床心理学 II 心理学 高齢者の心理 障害者の心理 精神医学 医学概論 健康科学 I 内科学 I 内科学 II 整形外科 I 整形外科 II 神経内科学 I 神経内科学 II 小児科学 老年学 公衆衛生学
	リハビリテーション医学 リハビリテーション概論 社会福祉概論 I 社会福祉概論 II ケアマネジメント
	理学基礎理学 理学療法概論 基礎理学療法治療学 理学療法研究法 病態運動学 運動療法 I 運動療法 II 運動療法 III 運動療法実習 物理療法 I 物理療法 II 物理療法実習 義肢装具学 義肢装具実習 日常生活活動学 日常生活活動実習 疾患別理学療法学 I (神経系) 疾患別理学療法学 II (骨・関節系) 疾患別理学療法学 III (内部障害系) スポーツリハビリテーション 疾患別理学療法学実習 I (神経系) 疾患別理学療法学実習 II (骨・関節系) 疾患別理学療法学実習 III (内部障害系)
理 学 展 開 法 学 科 目	リハビリテーション医学 リハビリテーション概論 社会福祉概論 I 社会福祉概論 II ケアマネジメント
	理学基礎理学 理学療法概論 基礎理学療法学 理学療法教育管理学 理学療法研究法 病態運動学
	作業療法概論 基礎作業療法学 作業療法教育管理学 作業療法研究法 病態運動学
	作業療法治療学 I (身体) 作業療法治療学 II (中枢1) 作業療法治療学 III (中枢2) 作業療法治療学 IV (精神障害) 作業療法治療学 V (内部障害) 作業療法治療学 VI (老年期) 作業療法治療学 VII (高次脳機能) 作業療法治療学 VIII (発達障害) 作業療法治療学 IX (職業前) 作業療法治療学実習 I (身体) 作業療法治療学実習 II (中枢1) 作業療法治療学実習 III (中枢2) 作業療法治療学実習 IV (精神障害) 義肢装具学 義肢装具実習 日常生活活動学 日常生活活動実習 スポーツリハビリテーション 作業学 I (木工・陶芸等) 作業学 II (革細工・漆細工等)
科専 門 展 開	地域リハビリテーション 生活環境学 リハビリテーション関連機器 地域福祉論 総合学習

<リハビリテーション学研究所リハビリテーション学専攻>

区分	授業科目
基 礎 科 目	医療健康学特論
	リハビリテーション医学特論
	リハビリテーション研究法特論
	リハビリテーション研究法演習
	リハビリテーション統計学特論
専 門 科 目	リハビリテーション教育特論
	地域リハビリテーション特論
	社会福祉特論
	介護福祉特論
	保育・幼児教育特論
基 礎 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 領 域	看護特論
	関連職種連携演習
	基礎リハビリテーション特論 I (基礎医学系)
	基礎リハビリテーション演習 I (基礎医学系)
	基礎リハビリテーション特論 II (内部障害系)
発 達 ・ 心 理 関 連 領 域	基礎リハビリテーション演習 II (内部障害系)
	基礎リハビリテーション特別研究
	発達・心理関連特論 I (発達心理学系)
	発達・心理関連演習 I (発達心理学系)
	発達・心理関連特論 II (小児リハビリ系)
専 門 科 目	発達・心理関連演習 II (小児リハビリ系)
	発達・心理関連特論 III (精神医学・高齢者系)
	発達・心理関連演習 III (精神医学・高齢者系)
	発達・心理関連特別研究
	実践的リハビリテーション特論 I (運動療法系)
実 践 的 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 領 域	実践的リハビリテーション演習 I (運動療法系)
	実践的リハビリテーション特論 II (脳機能・脳卒中系)
	実践的リハビリテーション演習 II (脳機能・脳卒中系)
	実践的リハビリテーション特論 III (物理療法、骨・関節系)
	実践的リハビリテーション演習 III (物理療法、骨・関節系)
実 践 的 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 領 域	実践的リハビリテーション特論 IV (生体機構理解、脊髄損傷患者の支援系)
	実践的リハビリテーション演習 IV (生体機構理解、脊髄損傷患者の支援系)
	実践的リハビリテーション特論 V (地域、介護予防系)
	実践的リハビリテーション演習 V (地域、介護予防系)
	実践的リハビリテーション特論 VI (中枢疾患評価・測定系)
実 践 的 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 領 域	実践的リハビリテーション演習 VI (中枢疾患評価・測定系)
	実践的リハビリテーション特別研究

医療健康学部とリハビリテーション学研究科との関係 2



金城大学大学院リハビリテーション学研究所リハビリテーション学専攻 募集人員及び選抜方法

- a. 基本的に、学校教育法第102条の規定に従い入学資格を与える。ただし、入学者は、理学療法士・作業療法士国家資格取得者に限る。
- b. 理学療法士、作業療法士は、大学教育以外の課程を経て有資格者となっている者も多い。このため、大学院にて個別入学資格審査を実施した上で、入学資格を付与する。
- c. 個別入学資格審査における“大学を卒業したものと同等以上の学力があるものと見なす”基準としては、実務経験、研究経験・業績等とし、これら考慮して総合的に審査を行う。
- d. 出願手続
- ・ 入学願書（写真票・受験票・銀行振込通知書）
 - ・ 卒業証明書または卒業見込み証明書、もしくは学位授与証明書あるいは学位記（写）または学位授与申請受理書（大学評価・学位授与機構発行）
 - ・ 成績証明書（最終学歴にあたる大学、短期大学、専門学校のもの）
 - ・ 理学療法士、作業療法士免許証写し（資格取得済みの場合）
 - ・ 研究計画書（800字以内、研究指導を希望する教員名を記載）
 - ・ 卒業論文要旨（卒業論文作成済みの場合のみ、社会人入試制度の場合は提出不要）
 - ・ 履歴書・研究業績書など（指定様式に記載、職歴・研究業績のある場合のみ）
- e. 選考方法
- 入学者の選考は、英語、小論文および個人面接・口述試験、提出書類等により総合的に判断し合否を判定する。
- 入試科目・配点：外国語（英語）60分 100点 辞書持ち込み可（電子辞書は不可）
小論文 60分 100点
個人面接・口述試験（受験者が、研究指導を希望する教員が、面接を担当できるよう配慮する）
- f. 入試時期：第1回目 初年度は11月（2年次以降は10月）、第2回目 2月

g. 社会人入試制度

*この制度における社会人とは、理学療法士、作業療法士として5年以上の実務経験を有する者とする。

入試科目・配点：外国語（英語）60分 80点 辞書持ち込み可（電子辞書は不可）

小論文 60分 120点

個人面接・口述試験（受験者が、研究指導を希望する教員が、面接を担当できるよう配慮する）

入試時期：第1回目 初年度は11月（2年次以降は10月）、第2回目 2月

h. 長期履修希望者の場合

(i) 長期履修を希望する場合は、一般入試、社会人入学試験の必要書類に加え、長期履修願いを提出する（長期履修を希望する理由、履修予定年限、履修計画等）。

(ii) 提出書類に基づき、長期履修制度の適用が適切であるか検討し、適切であると認められた場合は、長期履修制度を適用する。

(iii) 長期履修制度適用者の授業料等の納入に関しては、別に定める。また、納入方法・時期等を合格者に通知する。

i. 科目等履修生の選抜

科目等履修生の受け入れを可としている授業科目においては、大学院学則に従い、大学院の教育に支障をきたさないよう配慮して、科目ごとに履修の可否を判断する。

長期履修者用 履修モデル1 基礎リハビリテーション特別研究 選択者用

科目区分	1年		2年		3年		4年		単位数	必修・選択	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
基礎科目 (研究方法・基礎的素養を涵養する関連分野等)			リハビリテーション医学特論						2		
	リハビリテーション研究法特論								2	必修	
		リハビリテーション研究法演習							2	必修	
	リハビリテーション教育特論								2	必修	
専門科目	基礎リハビリテーション領域	基礎リハビリテーション特論 I (基礎医学系)							2		
			基礎リハビリテーション演習 I (基礎医学系)						2		
				基礎リハビリテーション特論 II (内部障害系)						2	
					基礎リハビリテーション演習 II (内部障害系)					2	
				基礎リハビリテーション特別研究	基礎リハビリテーション特別研究	基礎リハビリテーション特別研究	基礎リハビリテーション特別研究	基礎リハビリテーション特別研究	10		
	発達・心理関連領域										
	実践的リハビリテーション領域			実践的リハビリテーション特論 II (脳機能、脳卒中系)						2	
				実践的リハビリテーション演習 II (脳機能、脳卒中系)					2		
修了要件・・・研究指導教員が担当する専門科目の特論、演習、特別研究を含む30単位以上を修得し、別に定める論文審査に合格すること。									合計単位数	30	

長期履修者用 履修モデル2 発達・心理関連特別研究 選択者用

科目区分	1年		2年		3年		4年		単位数	必修・選択	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
基礎科目	(研究方法・基礎的素養を涵養する関連分野等)	リハビリテーション研究法特論							2	必修	
			リハビリテーション研究法演習						2	必修	
		リハビリテーション教育特論							2	必修	
				関連職種連携演習					2		
専門科目	基礎リハビリテーション領域										
	発達・心理関連領域	発達・心理関連特論Ⅰ(発達心理学系)								2	
			発達・心理関連演習Ⅰ(発達心理学系)							2	
				発達・心理関連特論Ⅲ(精神医学・高齢者系)						2	
					発達・心理関連演習Ⅲ(精神医学・高齢者系)					2	
					発達・心理関連特別研究	発達・心理関連特別研究	発達・心理関連特別研究	発達・心理関連特別研究	発達・心理関連特別研究	10	
	実践的リハビリテーション領域			実践的リハビリテーション特論Ⅴ(地域、介護予防系)						2	
					実践的リハビリテーション演習Ⅴ(地域、介護予防系)					2	
修了要件・・・研究指導教員が担当する専門科目の特論、演習、特別研究を含む30単位以上を修得し、別に定める論文審査に合格すること。									合計単位数	30	

長期履修者用 履修モデル3 実践的リハビリテーション特別研究、実践的リハビリテーション特論Ⅰ・演習Ⅰ（運動療法系） 選択者用

科目区分	1年		2年		3年		4年		単位数	必修・選択	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
基礎科目	(研究方法・基礎的素養を涵養する関連分野等)			医療健康学特論					2		
		リハビリテーション研究法特論							2	必修	
			リハビリテーション研究法演習							2	必修
		リハビリテーション教育特論								2	必修
専門科目	基礎リハビリテーション領域										
	発達・心理関連領域										
	実践的リハビリテーション領域			実践的リハビリテーション特論Ⅰ（運動療法系）						2	
					実践的リハビリテーション演習Ⅰ（運動療法系）					2	
		実践的リハビリテーション特論Ⅲ（物理療法、骨・関節系）								2	
			実践的リハビリテーション演習Ⅲ（物理療法、骨・関節系）							2	
				実践的リハビリテーション特論Ⅳ（生体機構理解、脊髄損傷患者の支援系）						2	
				実践的リハビリテーション演習Ⅳ（生体機構理解、脊髄損傷患者の支援系）					2		
			実践的リハビリテーション特別研究	実践的リハビリテーション特別研究	実践的リハビリテーション特別研究	実践的リハビリテーション特別研究	実践的リハビリテーション特別研究	10			
修了要件・・・研究指導教員が担当する専門科目の特論、演習、特別研究を含む30単位以上を修得し、別に定める論文審査に合格すること。									合計単位数	30	

長期履修者用 履修モデル4 実践的リハビリテーション特別研究、実践的リハビリテーション特論Ⅴ・演習Ⅴ（地域、介護予防系） 選択者用

	科目区分	1年		2年		3年		4年		単位数	必修・選択	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
基礎科目	(研究方法・基礎的素養を涵養する関連分野等)	リハビリテーション研究法特論								2	必修	
			リハビリテーション研究法演習							2	必修	
		リハビリテーション教育特論								2	必修	
					地域リハビリテーション特論					2		
専門科目	基礎リハビリテーション領域											
	発達・心理関連領域				発達・心理関連特論Ⅲ(精神医学・高齢者系)						2	
						発達・心理関連演習Ⅲ(精神医学・高齢者系)					2	
	実践的リハビリテーション領域	実践的リハビリテーション特論Ⅳ(生体機構理解、脊髄損傷患者の支援系)									2	
			実践的リハビリテーション演習Ⅳ(生体機構理解、脊髄損傷患者の支援系)								2	
					実践的リハビリテーション特論Ⅴ(地域、介護予防系)						2	
						実践的リハビリテーション演習Ⅴ(地域、介護予防系)					2	
					実践的リハビリテーション特別研究	実践的リハビリテーション特別研究	実践的リハビリテーション特別研究	実践的リハビリテーション特別研究	実践的リハビリテーション特別研究	10		

修了要件・・・研究指導教員が担当する専門科目の特論、演習、特別研究を含む30単位以上を修得し、別に定める論文審査に合格すること。

合計単位数 30